

# 6月 こ ひ つ じ 便 り

コロナ禍で、“身体を動かすことの大切さ”を改めて感じておりました。そこで、今回のお便りは、“幼児の体づくりについて”やお家の中での遊びやオリジナルの遊びを考え、親子でリフレッシュして頂けるような内容をご準備致しましたので、是非親子でお楽しみ下さい。又、これからの時期も“手洗い・うがい・消毒”などの感染症予防に気をつけて、過ごして参りましょう！

## 1. 便利さが及ぼす幼児のマイナス影響

近年では、幼児であってもスマートフォン等で、“動画鑑賞”や“情報サービス”を得ることが出来るなど自分自身の力で何でも出来ると錯覚してしまうほどです。こうしたことは、幼児の身体を動かす機会の減少に繋がり、身体機能が低下すると共に、体とつながりのある“心のコントロール力”も低下します。その為、対人・対物関係にも圧倒的“経験不足”になるというマイナスの影響があります。それを補う為に重要なことは、質の伴う“様々な体験”です。

## 2. 身体を使った“体験づくり”

身体遊びは、大脳(=心)の発達につながる大切な取り組みです。自分自身の力を使えば使うほど脳は活性化され、使わない力は脳が発達には“いらぬ”と判断してしまうとも言われます。幼児が健康的に育つ為には、身体・言語活動を増やし、想像力豊かに育つ環境が必要です。当園でも、自分の力を最大限使える様、『新しい生活様式』を取り入れながら、朝一番の体育遊びで脳を目覚めさせ、様々な遊びで充実した体験が出来るようにしております。

## 3. 子ども達へ～幸せを味わえる“日常”を準備しましょう～

「毎日1時間は身体を動かすことが大切である」と文部科学省も提唱しています。但し、1時間ずっとスポーツをするということではなく、日常生活の中に、「おやつを運ぶ」「遊んだおもちゃを運んで片付ける。」「着た服を脱いだら洗濯カゴに持って行く」などの身体を動かすことをコツコツ積み重ね増やすことで、充実した運動活動になります。身体を使った体験は、心も身体もリフレッシュ出来ますので、実体験を通して、大脳を刺激し、成長する喜びを見いだせるようにしましょう！

最後に、幼児の成長を考える“使命”を持っている大人達は、幼児自身が成長を味わえるような工夫を考え、“身体を動かす楽しさ”、“健康で生活できる喜び”など、遊びや会話を通じて、お子様と共に感じていきましょう。





2020(R. 2). 6. 25. (木)  
学校法人のぞみ学園 向丘幼稚園

## ＜親子時間を楽しもう！のコーナー＞

### ① 室内遊び

幼児は、一緒に触れ合いながら言葉を掛けることで、大きな安心感を得ることが出来、同時に触れ合う人との信頼関係の築き方を学びとっています。“親子タイム”を楽しみましょう。

オススメの遊び	遊び方
ペットボトルDEポンツ！	・新聞紙をビリビリ小さくちぎって押し込む遊び。 準備に手間どりません。
タオルDE綱引き	・親子での引っぱりあっこ。安全に気をつけ、タオル綱引きをしよう！腕の力がパワーアップ！
人間トンネル	・大人が座り、ひざを曲げ、トンネルを作り、くぐり抜ける遊び。「もう1回」「もう1回」とリクエストがくることでしょう。

### ② 戸外遊び「お家の人と一緒に散歩にでかけよう！」

梅雨の晴れ間に「お散歩みつけ！」を楽しみませんか？  
遊び方は、4×4の16マス(3×3・5×5などお子様の成長に合わせて下さい)の用紙を作り、お外にありそうな物をそれぞれのマス目に書き込めば、“みつけカード”の出来上がり！  
“みつけカード”は、お家の人を持ち歩き、見つかる度に、安全な場所でするし(シールなど)をつけて、楽しみましょう！



### ＜絵本の紹介コーナー＞

『ふたごのしろくま ねえ、おんぶのまき』

( 出版社 / 講談社 )

作・絵：あべ弘士

定価 本体 ￥1,200+税

氷の島に住む双子のしろくまは、お母さんに「おんぶをして！」とせがみますが、なかなかおんぶをしてくれません。

お母さんのとった行動には深い愛情が・・・！！

心温まる素敵な一冊です。

“こひつじ広場”毎回こんなことをしています  
(予約制)

#### アクティブステージ

- ・リズム体操(虹の向こうに・にんげんていいななど)
- ・リトミック(曲に合わせていろいろな動きをします)
- ・スペシャルイベント(毎回楽しいプランをたてています)

#### ハートフルステージ

- ・幼稚園の先生による絵本の読み聞かせ
- ・お友達との交流
- ・園庭の遊具で遊ぼう
- ・詳しくは、当園のホームページ“お知らせ”をご覧ください。